

# あ・も・し・ろ・人・立 めだかの学校だより

令和8年2月1日  
第130号  
学舎：周智郡森町  
「一宮総合センター」  
事務局：静岡県磐田市  
家田529-20  
TEL:0539-62-6691

## 校長訓話

第一三〇回 校長 山中 幸子

「めだかの学校17年」

平成22年(2010年)3月、みどりの郷キャンプ場で67回校長。入学は平成21年(2009年)3月のことである。

人や自然の心を大切に作る人間であるためには、時には先生になり、時には生徒になっておもしろおかしく学ぶという事が建学の精神である……。

入校して17年、再び校長がまわってきた。会場は、森町の一宮総合センターに変わり通学時間は車で1時間余りが、15分に短縮された。

いつの日か自分も80の声を聞くようになった。両親の介護を終え、今度は自分達の身に……。元気に趣味を楽しんでいた主人も病氣と戦っている今、昔をなつかしく思う。

平成25年(2013年)2月、「寄って倉」と名付けてくつろぎの場を作った。ハーブに囲まれ、花束・リース・クラフト

作りを楽しんでいたNPO法人ジャパンハーブソサエティ静岡県支部に所属。浜名湖花博では和のハーブをテーマにブースを担当した。「この指止まれ」の声に集まった仲間と共に、時にはハーブ園を巡る旅を企画したり、「寄って倉」から元気な声が絶えまなく聞こえ、仲間が気楽に立ち寄ってくれた。和広げて楽しい居場所もできたが、仲間も車に乗れなくなった、病氣になった、亡くなったと、ひとり又ひとり去っていく昨今である。

過去を振り返ると、農協の有線放送のアナウンス時代から遠鉄の旅の案内役を65歳まで勤めておりました。

・平成21年(2009年)3月。山道を1時間余りドライブ、今も元気に活躍している今村純子さんと軽のマニアルタイプのワゴン車で引佐までルンルン気分分度廻った頃。

・国会や地方選挙にウグイス嬢で飛び廻った事。

・森町のサービステイに選ばれて、お

茶の宣伝に汗した事。

・森町の観光大使として協力した事。

・磐田市の各交流センターでハーブ講座を担当した事等を思い出します。

めだかの学校に地域の人材と資源をつなぎ合わせ、「おもしろ人」としての好奇心や遊び心を供えた人達の異人種交流グループとして入学してから多くの出逢いがあり、引佐から森町の一宮総合センターに変わり、私にとって17年の歳月が流れました。

いつまで頑張れるのか？車の運転が出来るまで……。



## めだかの学校伝言板

第130回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／山中幸子

教頭／村松幸範

用務員／村田徳治

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっています。

消毒とマスクはして下さいね。

開校日／令和8年3月7日(土) 正午～  
受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

33期通年テーマ：

『人生百年時代』

今回のテーマ：

《人生百年・同じ年頃の2人の味は？》

<時間割>

●1時間目 社会 水村春江 先生

「人生百年時代・このごろの婚活もようは？」

●2時間目 理科 城雄二 先生

「これまでの私とこれからの私……」

●給食は取り寄せです。

PM3:15 閉校

## ■『信州遠山郷』特別授業

「人口を増やすのは手法であって目的ではない。楽しく暮らす、幸せになることが、地域づくりの目的である」～回想 信州遠山郷 今回の特別授業で心に残った、南信濃まちづくり委員長の言葉。折しも全国で熊出現のニュースが溢れている頃、めだかの学校特別授業『信州遠山郷』が実施されました。

熊の好物の柿餅を眺め、山へ山へと向かうこと約3時間、車内では自己紹介や信州への想いを語って頂きました。副実行委員長の埋田さんの昔の作文の歌？も良かったですね。

到着後の特別授業は、メダカ生の玉置さんの「尽力もあり、何とも豪華な充実した内容となりました。1限目は「地域づくりについて」南信濃まちづくり委員長・遠山さん。2限目は「文化継承について」遠山霜月祭り保存会長・針間さん。3限目は「地域活性化としての山の活用について」遠山郷観光協会会長・登山家の大蔵さん。どの話も興味深く引き込まれま



した。

限界集落に近づく危機感なのか？昔からの文化・地域性なのか？話を聞いて感じたのは、住民自治が進んでいる、地域が自立している。市への提言のレベルも議員並み、具体的に的確。信濃のまちづくりの熱意と地域力を感じました。「霜月祭り」や「天空の秘境」にも行ってみたい！しかし、世界的登山家・冒険家が観光協会の会長に就いてる街って凄い。

講義後は道の駅「遠山郷」に立ち寄り、温泉とお土産の物色。自分は猟師さんへの応援も込めて熊肉を購入。嫁さんと子ども達には全く喜ばれない結果となりました。

皆さんの御協力により、時間通りに、事故もアクシデントもなく、特別授業が行えたこと、実行委員長として感謝申し上げます。しばらく実行委員長はいいです。(笑)

(秋山メダカ)



## ■「かがり火の会」年次総会

「かがり火の会」の年次総会が、1月17日(土)14時から東京大手町の「3x3 Lab Future」(さんさんラボフューチャー)で開催されました。全国から多くの会員が出席。菅原欽一代表あいさつのおと、内山節さんによる基調講演。そのあとの懇親会では、久々に会った人たちが賑やかに交流することができた。「かがり火の会」の会員は262名。そのうちめだか生は、石野省三、市原実、大島たまよ、大谷洋介、草地博昭、榊原幸雄、榊原淑友、菅原欽一、杉谷知也、鈴木偉代、長谷川政夫、松林建、松本芳廣、水島加寿代、溝口久、村松達雄の16名。代表には菅原欽一メダカ、事務局は松林建メダカが

なっている。

## ■天と地の恵みを受け土が目覚める

昨年の異常気象は私たち人間が、2180年地球に対して行った結果だと思っています。60年前にレイチエル・カーソンの「沈黙の春」に書かれた環境破壊や農薬の恐ろしさが現実となつています。今、世界は戦争を行っている場合ではありません。私は農協にお世話になり、近代農法の指導者として農薬や化学肥料の使い方を農家の皆さんにお伝えしてきたのですが、今我が家では茶畑に肥料も農薬も与えず、ただ敷き草を施すだけで、土は微生物の働きにより天と地の恵みを受けて醗酵状態となり、1mもフカフカになっています。人間の腸内細菌と土壌細菌は一緒だといわれますが、「このお茶を飲むと元気になれる」と言ってくれます。自分としてはまだまだ勉強中ですが、天と地の恵みを受けたお茶を味わって、ご意見を頂けたら幸いです。

(榊原淑友メダカの年賀状より)

## 『人ひと・ヒト…だより』

●藤枝市の小嶋良之メダカの2026忘年状から。自国中心主義に振り回されている今、「過去の悲惨な歴史の学びは、やがて記憶から忘れ去られ、人々は再び、悪魔の時間を過ごすことでは、学びを自らに言い聞かせることができな」ということを思い知らされます。以下の言葉は、先の大戦の激戦地となった硫黄島の「鎮魂の丘」に建つ作家、井上靖の碑文です。

もうひとりの  
幸福を求める時代は終わった。  
ほかの人が幸福でなくて  
どうして自分が  
幸福になれるだろう

もう自分の国だけの

平和を求める時代は終わった。

ほかの国が平和でなくて

どうして自分の国が

平和であり得よう

「世界の国が地域が家族が自らが、来年1年が平和でありますように。」だつて。

●浜松市細江町のデザイン工房夢風舎の上嶋裕志メダカ。浜松市から令和7年度の「地域文化賞」を受賞。長年の町内の歴史・伝承をまとめた冊子の制作や配布、遠江ひよんどりやおくなくい連絡協議会の事務局運営、姫街道連絡協議会「姫街道未来塾」の立ち上げなど、30年にわたって地域の歴史文化を伝承する活動、幅広い歴史文化の保存、継承への貢献が期待される。それらの活動への評価されての受賞と。また2025年「ふじのくに文化財保存・活用推進団体県知事表彰」授賞とも。良かったね。頑張ってる人には、いい風が吹く、ですよ。

●小田原市の溝口久メダカ。昨年は海外では中国2回、台湾、ニュージーランド、エジプトを旅し、国内ではブラジル人の友人のリクエストで福山城での殿様体験を大洲城につづきすることができました。小田原の自宅にて開催した茶会の会や交流会には延べ600名を超える皆様にお越しいただいております。仕事では茨城県境町参与、静岡県小山町参与、神奈川県松田町官民連携担当として、例年に続き官民連携を前提とした事業を立ち上げるべく尽力してまいります。だつて。相変わらずの大活躍だね。楽しんでるね。(笑)

●磐田市の小山展弘メダカ。書籍『好きです、遠州』の世界観を映像として紡ぎ直すシリーズを始めました。最初のシリーズでは修験道とその信仰、文化を取り上げました。シリーズ第1話は、静岡県磐田市に佇む修験道の寺院、大乗院 三仞坊様です。滝行や

山での修行だけでなく、掃除や日々の所作そのものを修行と捉え、今も静かに祈りを続ける場所です。…真実性に迫る映像ではありません。ただ、一度立ち止まり、自分の感覚に戻る時間になれば幸いです。だって。映像はLINEで見ることが出来ます。興味のある方は090・9615・0831へ。

●愛知県長久手市の横田浩臣メダカ。相変わらず里山風景を少しでも残そうとして、体力の維持の目的も兼ねて、長久手、設楽、日進で取り組んでいます。「里山」という言葉が「広辞苑」に1995年に初めて載せられました。愛知万博の開催地問題が起こった頃です。そしてCOP10があり、「里山」が見直されました。それから15年、その言葉が社会から葬られていくのを感じています。だって。10年前の田んぼの風景が今は放棄され、周りの木々が入り込んでいる写真と共に。

●磐田市の八木義弘メダカ。家族3人で念願だった錦秋の東北を旅してきました。盛岡からレンタカーで時計回りの4日間。啄木にも、太宰にも、寺山修司にも記念館で会えたし。クマとぼったりはなかったし。だって。良かったですね。旅はいい！

●森町の天野智加志メダカ。街並みと蔵展が続いていることに感心します。それ以上に「めだかの学校」には驚嘆します。だって。俳句(十)郷の寺歳時5句をつけて。そのうちの3句を…。

・息凝らし眼でたどる 大涅槃図絵  
・花御堂 杓子持つ幼児 背伸びして  
・孫も子も 翁も十夜の なむあみだ  
●浜松市の水村春江メダカ。こちらは孫の結婚披露宴の写真と共に。俳句2句。

・孫ありて 贈る幸あり お年玉  
・父母ありて 今日我あり 初日記  
ばあばのにこやかな笑顔がいいねえ。  
●磐田市の小野里美メダカ。桶ヶ谷沼ビジ

ターセンターのパート職員になって早9年目になりました。心の中にモヤモヤしている(思っているけど、うまく自分の言葉にして語れない)自然の大切さ、自然と人の共生…。自分の言葉で整理して語ってみたいな。だって。ちよと後ろを押してもらおうといいかも。めだかの先生候補ゲットしたりして(笑)。

●浜松の白尾惇メダカ。余りガンバラ無いように、少し手抜きして永く続けていってくださいます。めだか皆勤ピンチ？だって。R10(2028)年は、横須賀城築城450年!!。めだかの学校は35周年！共に祝えるね(笑)。

●掛川市の横山忠志メダカ。春から地区長が回ってきます。めだか皆勤ピンチ？だって。R10(2028)年は、横須賀城築城450年!!。めだかの学校は35周年！共に祝えるね(笑)。

●千葉県松戸市の滝川徹メダカ。大腸がんの手術から5年、昨年末の検査で「完治宣言」を受けました。加齢は避けられませんが、皆様とのつながりを大切にしながら、仕事(海象舎)や遊びを楽しむつもりです。不登校続きで申し訳ありません。近く登校します！だって。いや、嬉しいね。会いたいね。きつとですヨ(笑)。

●浜松市佐久間町の山田修平メダカ。昨年原因不明の病気でちよと大変でしたが、完治しましたので、やりたい事まだまだ有るのだから行ってきたいと思っております。だって。病気が治って良かったですね。でも無理せずいきましょ。

●掛川市横須賀の鳥山剛メダカ。三熊神社の境内に、参拝者に楽しんでいただくように巫女さんと花を植えました。芝桜、石菖、千両、シヤガ、山吹、それに子供たちに旅する蝶アサギマダラを覗いて頂くように、今年はフジバカマを追加しました。手入れがとて楽しいです。最近の私の行動です。これって

報徳だよ、だって。

●磐田市の大島たまメダカ。正月三が日は骨董市出店、4日は京都、5日沖繩へバカンスです。だって。人は楽しまなくちゃ、ね。なんとその後インフルエンザになっちゃいました。だって。お大事に。

●浜松市の鈴木偉代メダカ。私は今年の傘寿を迎えます。我ながら頑張ってきたなと思ふこの頃です。土曜日のめだかの学校は、今年も時間がとれそうにありません。残念です。お互いに健康で楽しい日々が過ごせるといいですね。だって。ホントだね。

●静岡市の西島朋子メダカ。車の遠出は躊躇してしまいます。足が悪いのでなかなか…。元気で発酵のことを学び、教えています。だって。正月元旦の家族料理の写真と共に。まさにお正月料理だね。食べたい！。(笑)。

●長野県飯田市の河原俊文メダカ。あの日(11月9日)の遠山郷特別教室は、次の取材があつて中座せざるを得ず、後ろ髪を引かれる思いでした。会費の件等ご迷惑をおかけして申し訳ありません。近くなるとかします。だって。いやいや、南信州新聞に掲載してくれて、その記事をみた飯田市の1回生の人から『元気な姿を見て…』と手紙をいただきました。いや、嬉しかったです。

●長野県高森町のは橋都秀子メダカ。『デコ農園』のリンゴ、ラフランス、ブドウ、干し柿など愛情込めた果物を作っている。そんな多忙な合間をぬっての旅行。今年は何処へ行くのかナとジーンをぶらさけて頑張っています。だって。思っている時が一番楽しいね。私は今年、青函連絡船へのりた！。(笑)。

●浜松市の小野田宗弘メダカ。いつも気にかけていただいていたがとつとございます。縁あつて参加させていただきましたが、なかなか参加できませんので、退学させていただきます。長らくありがとうございました。色々とこめいわくをおかけしま

してすいませんでした、だって。別に迷惑はかけていませんでしたヨ。ともあれありがとうございました。来年の大同窓会には連絡するね。その時にはぜひ出席してね！。

●東京都のかまちよしろうメダカ。暑さのせいかスッカリ忘れてしまいました。スンマセン！千円〜1万円。活動費の足しにしてください、と。申込書と一緒に送ってくれました。いや、感謝感謝です。ふるさと納税ではありませんが、村松幸範メダカつちの次郎柿を送らせていただきました。

〔新入生紹介〕  
●掛川市の城雄二メダカ。12月6日の榎原淑友校長の訓話を聞きたいと、見学。なんと終わりで、その場で入校。「楽しくない。だれでも仲良くなれるのがよい。若い人が入るのが良い」と。城メダカ、広島大学の先生で、炭素循環農法とスーパー微生物農法を中心に、無農薬無肥料栽培、日本で炭素循環農法を広めている「たんじゅん農全国ネット」の世話人、だって。1度話を聞いてみたいですね。奥さんの城わかメダカも同時入校してくれました。第130回の授業で先生に決まりました。どんな話か楽しみですね。

××× ×××  
今年もたくさんさんの年賀状とLINEをいただきました。紙面の都合で多くを掲載することができませんでしたが、ごめんなさい。でも時々ハガキかLINE、FAXで、お便りくださいね。お待ちしています。

《お知らせ》  
めだか春秋は今回お休みします。

## ■事務局だより

湯気ゆれて温か茶碗や 指ほぐれ  
寒いですねえ、みなさんいかがお過ごしでしょうか。一杯の温かなお茶に気持ちもほぐれます。もうすぐ節分。みなさんの家では豆まきやりますか？。我が家では毎年やっています。「鬼はうち、福はうち」。寒いので鬼も福も家の中で共存です。

さて、第129回めだかの学校は12月6日の土曜日。校長 榎原淑友、教頭 大島たまよ、用務員 玉木良太。気のあつた3人です。気が合いますか？、教頭と用務員が先生までやるんです。開校以来初めてです。

ちよつと遅れて開校。教頭の「気をつけ礼」で始まり、校歌は伴奏なしで歌う。新入生はないが、淑友校長の訓話を聞きたいと4名の見学者があり、淑友メダカが紹介する。その中のご夫妻が開校後、即入校しました。嬉しいですね。

さてお待ちかねの給食の時間、今回も古澤屋さんのお弁当。美味しかったね。給食のあとは、全員で写真撮影。ポーズをとって「ハイ、チーズ」。いろいろからかなア、全員で写真を撮るようになったのは？。

1時10分からの校長訓話。先づは農協で肥料や農薬を使用してお茶指導をしてきたが、定年後の現在の天然農法のお茶づくりと、オーリングを大島教頭の指を借りてその違いを説明。森町の村松幸範メダカ「私はその農法で柿づくりをやっている。確かに以



前より違つと。

次の事務局からのお知らせは、11月9日の遠山郷特別教室に21名参加、その内容を簡単に説明。みんなの感想も良かった、良かった、と。

授業は、1時間目、玉木良太先生の「Z世代が考える100年先の未来つて」。小学生の時は合唱団に、高校卒業後会社員に。22歳の時、磐田市で初めての男性の観光大使に、25歳の時、市議会議員に立候補、最年少の議員になる。プロジェクトを使って「人は場をもたえれば力を発揮する。役割を持った時人は輝く。どう伝えたいか、どう生きたいかなど」を語る。

2時間目大島たまよ先生「今までの百年、技術の継承つて」。大戦後ベビーブーム時代、テレビ、洗濯機、冷蔵庫、海外旅行、1970年オイルショック時代、1971年バブル時代、1972年沖縄本土返還、1986年青函トンネル、瀬戸大橋、平成9年阪

神大震災など時代を追って語り、人口減少、不登校と出生率。伝統芸能の葛布、手を使う仕事が大変など、時代の流れから現代の名工の話など、多くを語る。  
2時30分、私語飲食全て禁止の次期3役



発表。校長山中幸子、教頭村松幸範、用務員村田徳治。いや〜楽しみな3人です。現3役と握手して引継ぎ。2時40分、会場前の方を広げて「今日の日はさようなら」を歌いながら握手して再会を！毎回ながら会話も弾んで…。いいね！。3時15分開校。今回は29人と出席者が少なかった。

第130回めだかの学校の職員会議を1月10日に開く。出席者は山中幸子校長、村松幸範教頭、村田徳治用務員の3役と、松本芳廣、中村明男、石野省三、榎原淑友、鈴木眞弓、榎原幸雄の9名。新年なりのイチゴとドラヤキの差入れあり(笑)。三役あいさつのおと、今回のテーマと授業について話し合う。通年テーマが「人生百年時代」なので、あつちうちからいろいろな話が飛び交う。決まったテーマは「何で違う人生百年？」。先生と内容も決まったが、後日先生の変更があつて、1時間目、社会「人生百年、この頃の婚活模様

様は？」。水村春江先生。2時間目、理科「これまでの私、これからの私」。城雄二先生に。先生が変わつたのでテーマも変わつてしまいました。《人生百年時代、同じ年ごろの二人の味は？》。まさにめだか流、臨機応変でございますよ(笑)。



## ■第33期の受付を始めています。

第33期は、令和7年9月1日から令和8年8月31日までです。申し込みを受け付け

ています。毎年度手続きが必要です。手続きを怠ると、自主退学扱いとなり、名簿から外れます。気を付けてください。新しく入校を希望される方がいましたら、事務局までご連絡ください。申込書と資料を送ります。若い人も入るといいですね。

■今回も遅れました。「ごめんなさい。」いつも原稿のメール打ちの石野省三メダカ、大島たまよメダカ、埋田千聡メダカ、水島加寿代メダカ、秋山勝則メダカ、村松達雄メダカ、今回は榎原淑友メダカも。写真撮影の横山忠志メダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榎原明美さん、ありがとうございます。

## ■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、令和8年5月1日予定。締め切りは4月15日です。なんでも結構です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBで。メールの方は、  
《mavun.ft00@gmail.com》  
間瀬亮太090-5006-0689です。  
(アドレスが変わりました。昔のアドレスは使用不可。)

## ■めだかの学校の事務局

〒438-0105 静岡県磐田市家田529番地20 榎原幸雄方 TEL 05399-626691 (FAX 同)  
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一宮3150。電話 05338-89-7730 開校日の午前11時以降のみ使用可。  
携帯 080-1612-9130

